

## 餓鬼岳—燕岳—常念岳

長谷川 隆

期 日：8月14日夜行バス～18日

天候：晴れ

コース：15日=登山口/6:02—大凧山/11:48—餓鬼小屋/15:45  
16日=5:55—剣ズリ/6:08—東沢岳/10:34—東沢乗越/  
11:15—北燕岳/15:00—燕山荘/16:00  
17日=5:50—大天井岳/9:30～常念小屋/13:00/13:30  
—常念岳/14:30/14:50—常念小屋/15:30  
18日=6:20—大滝ベンチ/8:50—一ノ沢登山口/9:52

参加者：SA、NO、TA、SU



歩き始めて 2 時間を要しても沢沿いの梯子、栈道のアップダウンの道にて高度は 300m 稼いだのみ

やっとの思いで着いた餓鬼岳小屋は昔ながらの薪ストーブつきの大部屋貸切り状態であった



食事は土鍋におでんと、思いもかけず炊き込みご飯であった

小屋のすぐ上が餓鬼岳山頂





予想に反して  
翌朝は見事な  
モルゲンロート

剣ズリに取り掛かり、途中から振えと、  
唐沢岳-烏帽子岳  
野口五郎岳の裏  
銀座が一望



思った以上に岩場が連続しており緊張のしっぱなし



雨で濡れていたなら  
通過は困難であったろう



東沢岳—東沢乗越—北燕岳  
の登り返しはきつかった

槍ヶ岳が目の前  
疲れも一気に吹っ飛ば

燕山荘から離れている  
この辺りでは  
あちらこちらの斜面に  
コマクサの群落が何箇所も  
見られた



北燕岳—燕岳から燕山荘への道は  
まさに稜線散歩



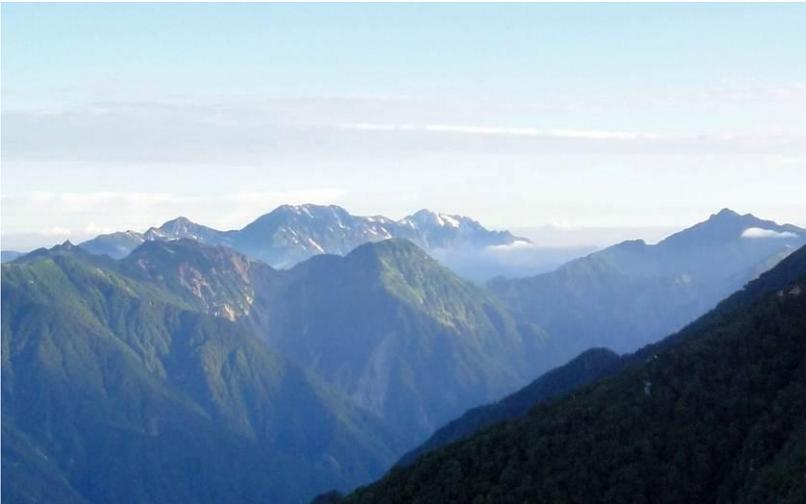
多くの登山者で混雑していた燕山荘には  
泊まりたくないが、やむを得ず  
カイコ棚の仕切り部屋に一夜の宿を・・・



お疲れ様の身体にご褒美です  
燕山荘のテントサイトは超過密  
鹿島槍も遠くに・・・



絵に描いたような風景が！ 槍、小槍、笠ヶ岳もしっかりと秋雲の下に



振り返ると  
立山一剣  
手前に鳥帽子岳、  
ブナ立尾根、  
右に針ノ木岳



手を差し伸べれば  
届きそうな槍、小槍

ヤットコサ常念小屋に到着  
明日は終日小雨の天気予報  
急遽、蝶ヶ岳行きは中止

ならば、これから常念岳にピストンし  
明日は雨の降らないうちに  
一ノ沢へ下山と決定



来年は槍から大キレットを越えて  
穂高まで歩こうか！

楽しかった  
餓鬼, 燕, 常念  
槍, 穂高  
名残は尽きず  
また逢う日まで

